

■ スタディ・アブロード (SA)

海外で語学力・コミュニケーションスキルを身につける

理工学部には、英語によるコミュニケーション能力向上とともに、科学技術分野で必要とされる実践的英語スキルの習得に対する強い動機付けを目的とした、学部独自の留学制度「スタディ・アブロード (SA)」があります。夏期SAでは夏休みの4週間を利用してアメリカの大学へ、春期SAでは春休みの4週間を利用し

てヨーロッパの大学へ渡り、短期集中型フィールドワークを行います。該当科目の履修登録をすることにより2単位が卒業単位（創生科学科を除く）として認められます。なお、申請が認められた場合、10~15万円の返還不要の奨学金が支給されます（申請時のTOEIC®の成績により選考）。



■ ノートパソコンを希望者全員に無償貸与

小型で軽く、持ち運びに便利なノートパソコンを入学から卒業まで自分専用として使えます（理工系学部のみ）。授業などで使用する高価なソフトをあらかじめインストールし、ストレスなく動作するスペックのマシンを用意しています。無線LAN装置搭載で、大学内のほぼ全エリアで接続可能。故障時や使用方法が分からない時のための相談窓口も、キャンパス内に設置しています。ノートパソコンを授業で利用したり、授業の理解度を高める学習ソフトを利用したり、多彩なシーンで有効活用できます。入学時に、自分自身で新品を用意する必要はありません。



■ 出席管理システム

出席管理は学生証をタッチ！学生証にはICチップが内蔵されており、授業前に教室に設置されている出席管理システムに触れると、出席データが取り込まれます。



卒業生Message



梶浦勇生さん
 コニカミノルタ株式会社 開発統括本部
 モノづくり技術センター 勤務
 工学部[※]電子情報学科 2000年3月卒業
 大学院 工学研究科
 情報電子工学専攻 2002年3月修了
 東京都立三鷹高校 出身
※工学部は、2008年4月より、理工学部・生命科学部に改組されました
 ※勤務先の所属は、取材当時のものです

研究に明け暮れた“修業”が技術者としての今を支える原点に

私が高校生だった20年ほど前はインターネットの黎明期でした。高性能PCの普及も目覚ましく、その当時に先駆者だった電子情報学科へ希望に胸を膨らませて進学したことを覚えています。一番の思い出は画像工学研究室で昼夜を問わず研究に没頭したこと。医療診断用の3D画像再構成システムの構築に奮起する傍ら、学会用のレポート作成や医大との共同研究にも奔走しました。成果が出ずに苦しみ期日に追われて焦ることもありました。とてもいい修業の場でした。あれほどひたむきに

に打ち込めたのも学生の特権だと思います。この頃に得た知識や技術は今の業務にも大いに生きています。課題を抽出して解決する発想力や忍耐力など、技術者に必要な素養も身につけることができました。現在は自社の主力商品である複合機などを製造する大規模なラインシステムの開発を担当しています。限られた日程の中でいかに生産性を高めるか、時にはリスクを冒してでも前進する気概で取り組んでいます。今後も多くの方に喜ばれるものづくりを心がけ、キャリアを積んでいきたいと思っています。

9:00	9:30	10:00	12:00	13:00	16:00	17:00	20:00	
● 出社	● その日の仕事とメールをチェック	● 集中	● (昼休み)	● 複数のプロジェクトの企画に連動した設備の構想を練ることも	● 複数のプロジェクトの進捗状況を確認して調整	● プロジェクトメンバーの報告会を行います	● 打ち合せやデスクワークなど、週1回は関西支社等とテレビ会議で報告会を行います	● 退社。家族と過ごす時間も大切にしています。

大手メーカーをはじめとした製造業・IT関連企業や情報通信業・航空および宇宙産業などにおける技術者・研究者、サービス業や金融業などの生産管理や品質管理の専門家、国家および地方公務員、大学や研究機関における研究者、中学や高等学校の教諭など幅広い選択肢があります。

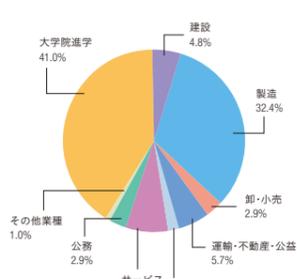
就職

● 主な就職先・進学先（2013年度理工学部卒業生・大学院工学研究科[※]修了生実績）

※創生科学科は2011年4月開設のため、就職実績はありません。
 ※工学研究科は、2013年4月より理工学研究科に改組されました。

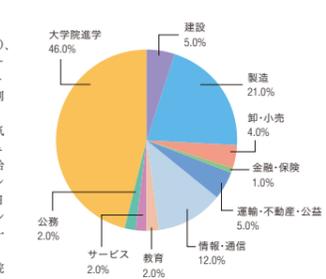
機械工学科

三菱化学エンジニアリング(株)、(株)キップ、文化シヤッター(株)、三菱電機(株)、富士電機(株)、三菱自動車工業(株)、凸版印刷(株)、(株)明電舎、ヤマハ発動機(株)、(株)日立製作所、ヒロセ電機(株)、三菱電機照明(株)、日本発条(株)、(株)三製作所、山崎製パン(株)、スズキ(株)、日野自動車(株)、いすゞ自動車(株)、住友重機工業(株)、(株)東芝、コニカミノルタ(株)、(株)日産テクノ、三井化学(株)、トヨタ自動車(株)、新明和工業(株)、オリンパス(株)、富士重工(株)、東日本旅客鉄道(JR東日本)、東京ガス(株)、東海旅客鉄道(株)、(株)JALスカイ、小田急電鉄(株)、日本貨物航空(株)、(株)メイテック、宇宙技術開発(株)、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン(株)、中央区役所、海上保安庁、法政大学大学院



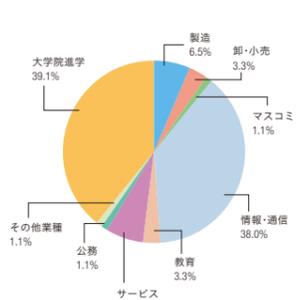
電気電子工学科

(株)関電工、東芝プラントシステム(株)、富士重工(株)、(株)リコー、三菱電機(株)、本田技研工業(株)、日立オートモティブシステムズ(株)、キヤノン(株)、(株)セガ、トヨタ自動車(株)、日本発条(株)、(株)明電舎、凸版印刷(株)、神電工業(株)、(株)東芝、スタンレー電気(株)、スズキ(株)、島田理化学工業(株)、シャープ(株)、日本電気(株)、(株)いなげや、(株)大垣共立銀行、(株)東急コミュニケーション、東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)、成田空港給油施設(株)、青い森鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、インフォテック・サービス(株)、(株)NTTデータ・アイ、(株)日立システムズ、(株)エヌ・ティ・ティ・データ、日本コムシス(株)、住友電工情報システム(株)、(株)メイテック、一般(財)電機技術者試験センター、防衛省、川崎市役所、法政大学大学院、早稲田大学大学院、慶應義塾大学大学院



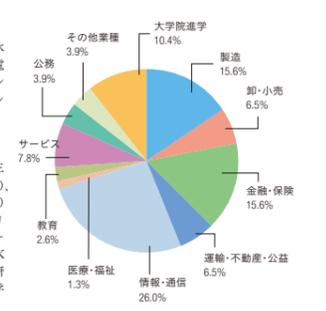
応用情報工学科

アルプス電気(株)、沖電気工業(株)、ソニー(株)、(株)明電舎、日本電気(株)、(株)日立製作所、京セラ(株)、スズキ(株)、(株)リコー、カシオ計算機(株)、富士通(株)、(株)セガ、日本航空電子工業(株)、日野自動車(株)、リコー、(株)三菱電機ビジネスシステム、日本銀行、東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)、(株)静岡朝日テレビ、富士通CIT(株)、アンドール(株)、(株)ナビタイムジャパン、(株)日立ソリューションズ・ネクサス、NTTコミュニケーションズ(株)、TIS(株)、(株)コロプラ、(株)日立システムズ、富士フイルムメディカルITソリューションズ(株)、ソフトバンク(株)、NTTソフトウェア(株)、東日本電信電話(株)(NTT東日本)、神奈川県教員、大阪府教員、(株)コナミデジタルエンタテインメント、(株)オービック、防衛省、法政大学大学院、筑波大学大学院



経営システム工学科

YKK(株)、(株)岡村製作所、丸美屋食品工業(株)、積水化学工業(株)、いすゞ自動車(株)、キヤノン(株)、日本電気(株)、富士通システムネットワークス(株)、キヤノンマーケティングジャパン(株)、(株)羽田エアポートエンタープライズ、(株)オービックビジネスコンсалタント、(株)北陸銀行、大和証券(株)、野村證券(株)、岐阜信金、みずほ証券(株)、(株)福岡銀行、(株)三菱東京UFJ銀行、(株)東京都市銀行、東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)、三井不動産リアルティ(株)、スターフコーポレーション(株)、(株)日立物流、伊藤忠アーバンコミュニケーションズ(株)、(株)NTTデータフロンティア、サンワコムシステムエンジニアリング(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・データ、NECソリューションイノベータ(株)、ヤマトシステム開発(株)、SCSK(株)、エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)、(株)船井総合研究所 東京本社、セコム(株)、東京都庁、法政大学大学院、筑波大学大学院、早稲田大学大学院



大学院 (理工学研究科)

理工学研究科では、21世紀のグリーン・サステナブル・ソサエティを目指して、ものづくりだけでなく、地球環境・エネルギーの問題に取り組み、知識型社会の発展に寄与する人材の養成を目指しています。

機械工学専攻 (修士課程・博士後期課程) 材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の4力学を中核として、機械工学の基礎および関連学術を十分に習得させることを目指し、先端的な講義や研究指導を行っています。	応用情報工学専攻 (修士課程・博士後期課程) 計算機工学、情報ネットワーク工学、情報処理工学、人間情報工学の4つの分野から構成され、工学的な視点から実用的かつ高度なハードウェアシステムの開発についての研究・教育を行っています。
電気電子工学専攻 (修士課程・博士後期課程) 集積回路、半導体デバイス、電子材料、電子物性、通信、制御、エネルギーなどの電気電子分野に重点をおき、現在の科学技術を支える先端技術の基礎から応用までの研究・教育を行います。	システム工学専攻 (修士課程・博士後期課程) 経営系(経営システム工学科)・システム制御系(システム制御工学科・創生科学科)で構成され、理学、工学、社会科学、プログラミングなど幅広い分野の学識の習得を通じ、研究対象をシステム的に分析・理解し、専門的技術者の養成を目的としています。

在学中または卒業後に得られる取得資格および受験資格

機械工学科機械工学専修 ・高等学校教諭一種免許状(数学) ・中学校教諭一種免許状(数学)	電気電子工学科 ・高等学校教諭一種免許状(数学) ・中学校教諭一種免許状(数学) ・電気主任技術者 所定科目を満たして卒業すると、実経験年数に応じて取得申請を行うことができます。資格区分は第一種、第二種、第三種があります。 ・無線従事者 所定の条件を満たして卒業することにより、資格取得試験の一部科目が免除されます。 第一級陸上無線技術士： 第一級陸上特殊無線技士、第三級海上特殊無線技士： 所定科目すべてを修得して卒業することにより、取得申請を行うことができます。	経営システム工学科 ・高等学校教諭一種免許状(数学) ・中学校教諭一種免許状(数学)
機械工学科航空操縦学専修 ・高等学校教諭一種免許状(数学) ・中学校教諭一種免許状(数学) ※以下の資格は、国家試験(学科試験・実地試験)を受験する必要があります。 ・航空従事者技能証明(自家用操縦士) ・航空従事者技能証明(事業用操縦士) ・多発限定変更 ・計器飛行証明 ・航空無線通信士 ・航空英語能力証明	応用情報工学科 ・高等学校教諭一種免許状(情報、数学) ・中学校教諭一種免許状(数学)	創生科学科 ・高等学校教諭一種免許状(数学、理科) ・中学校教諭一種免許状(数学、理科)

※教諭一種免許状取得には、教職関連の科目の修得が別途必要です。